

大学院入学試験問題  
(一般入試)人文学専攻  
英語高度専門職業人コース

問題種別 専門英語試験

- I 以下の英文を読み、問(1)・問(2)それぞれに日本語で答えなさい。解答はすべて解答用紙に書くこと。
- (1) 下線部(ア)～(エ)を日本語に訳しなさい。ただし、(ア)については“rich-media synchronous technologies”の具体例を自分で考えて補い、(イ)は“the modality or modalities”の具体例を自分で考えて補って訳しなさい。
- (2) Blended synchronous learningにおけるchallengesの例として何があり、それに対してどのような対処が提案されているか、200字程度でまとめなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に本ウェブページの公衆送信について著作権者より承諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

(続く)

大学院入学試験問題  
(一般入試)

人文学専攻  
英語高度専門職業人コース

問題種別 専門英語試験

(I 続き)

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に本ウェブページの公衆送信について著作権者より承諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

【出典:Bower, M., et al. (2014) *Blended Synchronous Learning: A Handbook for Educators*. Creative Commons. <http://blendsync.org>. 出題の都合上原文を一部修正している】

大学院入学試験問題  
(一般入試)

人文学専攻  
英語高度専門職業人コース

問題種別 専門英語試験

II 以下の英文を読み、その要点を 400 字程度の日本語でまとめなさい。解答はすべて解答用紙に書くこと。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に本ウェブページの公衆送信について著作権者より承諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

【出典:Tavakoli, P. & Wright, C. (2020) *Second Language Speech Fluency: From Research to Practice* (pp. 49-50). Cambridge University Press. 出題の都合上原文を一部修正している】

大学院入学試験問題  
(一般入試)

人文学専攻  
英語高度専門職業人コース

問題種別 専門英語試験

III

Some people think that Japanese students can learn English better with a Japanese English teacher than with a native English speaker. Others think that it is always better to have a native English speaker. Which do you prefer? Use specific reasons to develop your essay.

Write a three-hundred-word essay. Indicate the number of words you have written at the end of your essay. Do not count punctuation such as commas or periods as words.

・専門筆記試験の出題の意図

名古屋大学大学院人文学研究科の各学繫に置かれた教育プログラムに従って授業科目を履修し、研究指導を受けるにあたり必要となる十分な専門知識と研究能力を有しているかを、分野・専門ごとの論述問題によって問う。

・口述試験の実施方法や試験内容

受験者が志望する分野・専門の教員を含む複数名の教員により個別に面接（15分程度）を行い、卒業論文またはこれに代わるもの及び出身学校の学業成績等に係る試問により、当該分野・専門で修士学位論文の作成に向けた研究指導を受けるための基礎的な能力を有していることを確認する。